

企 画 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	146,214	189,925	43,711	29.90

主な増減理由

- ・高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画の策定経費の増 16,400千円
- ・第九次総合計画策定に向けた準備経費の増 10,180千円
- ・SNSを活用した情報発信の強化による増 6,600千円
- ・諸統計調査（住宅土地統計調査等）の増 2,345千円

要求に関する基本方針

- 総合計画の着実な推進と市長公約の実現
- SDGs 未来都市計画に基づくSDGsの推進
- 高山駅西地区の新たなまちづくりの推進
- 大学連携・若者によるまちづくりの推進
- 市政情報の適切な提供と市民意見の聴取

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

- <夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み>
- <利便性の高い都市機能とネットワークの構築>
- <着実な計画の推進>

- 総合計画の推進 10,654千円
(474千円)
 - 第八次総合計画の推進及び第九次総合計画の策定に向けた準備に必要な経費を計上
 - ・総合計画審議会の開催
 - ・第九次総合計画の策定に向けた調査

- 高山駅西地区のまちづくりの推進 16,400千円
(0千円)
 - 高山駅西地区における複合・多機能施設整備基本計画の策定に必要な経費を計上
 - ・民間活力の導入可能性調査
 - ・施設整備、運営・管理に関する協議の場の設置

- 大学連携・若者によるまちづくりの推進 24,860千円
(22,550千円)
- 大学連携の推進に必要な経費を計上
- ・大学と連携した調査、サテライトキャンパスの設置
 - ・大学連携センターに対する助成、大学のゼミ合宿等に対する助成、産学金官連携の促進
- 村半（若者等活動事務所）の管理運営に必要な経費を計上
- ・施設の管理運営
- SDGs 未来都市計画に基づくSDGsの推進 5,000千円
(6,600千円)
- 飛騨高山SDGsパートナーシップセンターを中心としたSDGsの推進に必要な経費を計上
- ・私なりのSDGs宣言、飛騨高山SDGsパートナー登録制度の運用
 - ・SDGsを通じた市民、事業者、各種団体のパートナーシップの構築
- 行政情報の提供と公聴事業の推進 94,844千円
(84,214千円)
- 各種媒体による情報発信に必要な経費を計上
- ・広報たかやまの発行、FM・CATVにおける番組制作・配信
 - ・SNSを活用した情報発信の強化

<p>事業見直しの概要</p>

() は前年度予算額

- 該当なし

総務部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	759,864	845,325	85,461	11.25

主な増減理由

・選挙執行経費の増（県議会議員選挙、市議会議員選挙）	92,050千円
・ハザードマップ作成業務の増	26,854千円
・人事管理システムの導入による増	16,000千円
・電子契約、電子決裁システムの導入等による増	13,460千円
・防災ラジオの無償配布対象者の拡大による増	11,660千円
・選挙執行経費の減 （参議院議員選挙、市長選挙及び市議会議員補欠選挙、県議会議員選挙準備費）	△79,930千円

要求に関する基本方針

- 行政を取り巻く環境の変化に的確に対応できる職員の育成
- DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進による市民サービスの向上、業務の効率化
- 持続可能なまちづくりに向けた効率的かつ効果的な行政経営の推進
- 市民の生命・身体及び財産を災害から守るための体制整備

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<安全への備えと災害時の対応強化>
<着実な計画の推進>

- 実践的な防災訓練の実施 4,172千円
(3,800千円)
 - 地震等を想定した実践的な防災訓練に必要な経費を計上
 - ・ペット同行訓練、外国人避難者を想定した訓練の実施
 - ・訓練会場設営等業務委託

- 災害対策事業の推進 138,345千円
(102,296千円)
 - 災害の未然防止と災害発生に備え防災体制の充実を図るために必要な経費を計上
 - ・ライフライン保全のための立木伐採
 - ・防災士の育成
 - ・ハザードマップの更新、配布
 - ・防災ラジオの無償配布対象者の拡大

○ 適正な人事管理 35,018千円
(33,773千円)

職員採用など人事管理に必要な経費を計上

○ 職員の意識改革と資質向上の推進 19,921千円
(18,600千円)

職員研修や人事交流に必要な経費を計上

- ・ 職員一人ひとりの職責、役割意識を高め組織力の向上に資する研修の充実
- ・ 職員の意欲の向上や適正かつ効率的な事務執行に資する研修の充実
- ・ 行政課題（DX推進など）に的確に対応できる職員の育成
- ・ 職員のオンライン研修の推進

○ 公共施設等総合管理計画の推進 510千円
(390千円)

公共施設等総合管理計画の推進、指定管理者制度の運用に必要な経費を計上

- ・ 指定管理者選考委員会の開催 ほか

○ 行政経営の推進 500千円
(500千円)

行政経営の推進に必要な経費を計上

- ・ 行政経営推進委員会の開催

○ DXの推進 443,200千円
(414,300千円)

DXの推進に必要な経費を計上

- ・ DX推進部会を主軸とした全庁的な取組の推進
- ・ 行政手続のオンライン化の一層の推進
- ・ AI（人工知能）やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の活用
- ・ 電子契約、電子決裁などペーパーレス化の推進
- ・ テレワークやテレビ会議の推進
- ・ セキュリティ対策の徹底
- ・ 人事管理システムの導入

情報システムの整備、運用に必要な経費を計上

- ・ 各種制度改正に伴う総合行政情報システム等の改修
- ・ 情報システムの運用保守 ほか

事業見直しの概要

○ 情報システム更新等の見直し 0千円
(9,200千円)

- ・ タブレット端末への切替、後年度対応も考慮したOSアプリケーションの見直し

○ 災害時の映像中継システムに係るコストの縮減 223千円
(1,100千円)

- ・ 災害現場の映像をシステムを介さず防災用スマートフォンから直接提供することにより映像中継に係るコストを縮減

財 務 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	5,819,881	6,230,370	410,489	7.05

主な増減理由

・旧笠山荘解体工事等の増	180,055千円
・市役所本庁舎及び支所の電気使用料の増	69,581千円
・令和6年度評価替に伴う航空写真撮影業務の減	△27,818千円
・市債残高の減少による公債費の減	△86,263千円

要求に関する基本方針

- 第八次総合計画の着実な推進と市長公約の実現
- 社会情勢の変化や行政課題に対応した財産管理の推進
- 公平な課税と税収納率の向上

要求のポイント

() は前年度予算額

<長期的な視点による公共サービスの提供>
<着実な計画の推進>

- 適正な財政運営と財源の確保 4,700千円
(3,100千円)
健全で持続可能な財政基盤の確立を図るため、適正な財政運営等に必要な経費を計上
・ 財政管理費、諸費などの事務費
- 適正な公共調達の推進 838千円
(799千円)
公平・公正な契約事務の遂行や検査によるチェック体制の確立に必要な経費を計上
・ 契約検査に係る事務費
- 庁舎等の適正管理 568,421千円
(440,240千円)
行政事務の円滑な実施に必要な経費を計上
・ 庁舎、公用車等の維持管理
- 財産管理の適正化と効率的な運用 248,652千円
(52,211千円)
公有財産の適正な管理と未利用財産の活用や処分に必要な経費を計上
・ 市営墓地の管理
・ 市有施設の火災保険の加入
・ 普通財産の管理や活用、処分のための測量業務
・ 不要建物の解体

○ 庁舎整備の推進 58,797千円
(69,690千円)
高根多目的センターの整備

○ 公平な課税と税収納率の向上 66,741千円
(79,300千円)

固定資産税等の公平・公正な賦課及び徴収率の向上のために必要な経費を計上

- ・ 字絵図書替
- ・ 家屋所在地番等調査
- ・ 固定資産現況調査等
- ・ 土地鑑定評価
- ・ コンビニ収納代行委託等
- ・ 登記情報照合

事業見直しの概要

○ 該当なし

市民活動部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,058,050	1,755,256	697,206	65.90

主な増減理由

・スポーツ施設等の水銀灯のLED化改修による増	231,495千円
・市民プール再整備による増	221,500千円
・市民スキー場（モンデウススノーパーク）の直営管理による増	123,201千円
・中山公園陸上競技場三種公認更新に向けた改修工事による増	52,500千円
・文化芸術活動に対する支援の見直しによる増	20,000千円
・地域コミュニティのデジタル化の推進に関する経費の増	7,000千円
・常陸宮賜杯中部日本スキー大会地元開催に伴う負担金の増	4,500千円
・地域課題解決型若者活動支援事業補助金の新設による増	2,000千円
・協働のまちづくり支援金の見直しによる減	△7,000千円
・廃止スポーツ施設解体工事終了による減	△42,480千円

要求に関する基本方針

- 協働のまちづくりの推進による地域コミュニティの活性化
- 学びの場の充実と学んだ成果を地域づくりに活かす生涯学習の推進
- 日々の暮らしやまちづくりに活かす文化芸術活動の推進
- スポーツが身近となる機会の創出
- 計画的なスポーツ、生涯学習施設整備の推進

要求のポイント

() は前年度予算額

- <多様な働き方に適応した労働環境の構築>
- <心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現>
- <文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出>
- <多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化>
- <安全への備えと災害時の対応強化>

○ 協働のまちづくりの推進 267,541千円
(268,010千円)

地域づくり活動及び市民活動の促進と協働の推進に必要な経費を計上

- ・まちづくり協議会の地域の課題解決に向けた取組への支援
- ・まちづくりを担う人材の育成、専門知識・技術を有した人材による継続的な支援
- ・市民活動団体の社会の課題解決につながる活動への助成
- ・地域課題解決のための若者の自主的・主体的な取組への助成
- ・デジタル技術を活用した地域コミュニティ活性化に向けた取り組みに対する支援

○ 男女共同参画の推進 1,000千円
(1,002千円)

第5次高山市男女共同参画基本計画の推進に必要な経費を計上

- ・女性活躍推進を図るための講演会や講座などの開催

○ 交通安全の推進 3,115千円
(3,184千円)

交通安全に対する意識の醸成、交通安全対策に必要な経費を計上

- ・若年者や高齢者に重点を置いた啓発や交通安全教室の開催

○ 結婚の支援 20,559千円
(16,330千円)

結婚につながる出会いの機会の創出や結婚しやすい環境の充実に必要な経費を計上

- ・結婚相談の実施、結婚支援イベント開催団体に対する助成
- ・結婚新生活世帯に対する助成の拡充

○ 都市交流の促進 1,166千円
(1,120千円)

都市交流の促進を図るために必要な経費を計上

- ・国内の姉妹友好都市との交流促進

○ 平和に関する意識の醸成 193千円
(414千円)

市民の平和に対する意識の高揚を図るために必要な経費を計上

- ・高山市平和の日や平和都市宣言の啓発

○ 生涯学習の推進 509,169千円
(430,308千円)

生涯学習機会の提供や生涯学習施設の維持管理に必要な経費を計上

- ・市民憲章、人権啓発の推進
- ・子ども夢創造事業（科学）の実施
- ・二十歳のつどい開催
- ・生涯学習施設の整備と維持管理（水銀灯LED・電波法改正・PCB対応） ほか

○ 文化芸術の振興 58,152千円
(41,622千円)

文化芸術の市民生活への浸透と文化芸術の振興を図るために必要な経費を計上

- ・市民の自主的な文化芸術活動に対する支援
- ・市美術展覧会の開催
- ・子ども夢創造事業（文化芸術）の実施
- ・文化芸術鑑賞事業の実施

- スポーツ活動の充実 22,639千円
(19,254千円)
- スポーツ機会の提供や競技力向上などに必要な経費を計上
- ・子ども夢創造事業（スポーツ）の実施
 - ・スポーツ少年団、スポーツ大会開催に対する支援
 - ・スポーツ指導者の指導員資格取得に対する助成
 - ・常陸宮賜杯中部日本スキー大会の地元開催
- スポーツ施設の整備 707,031千円
(258,640千円)
- スポーツ施設の整備や維持管理に必要な経費を計上
- ・スポーツ施設の水銀灯のLED化改修工事
 - ・中山公園陸上競技場の三種公認更新に係る改修工事
 - ・市民プールの再整備
- 高地トレーニングエリアの整備と機能強化 40,220千円
(15,690千円)
- 高地トレーニング施設の整備や維持管理、活用のために必要な経費を計上
- ・トップアスリート受入れ体制の整備及び利用の促進
 - ・高地トレーニング施設の水銀灯のLED化改修工事 ほか
- 市民スキー場の運営 123,201千円
(0千円)
- 市民スキー場の運営や維持管理に必要な経費を計上
- ・市民スキー場の運営と維持管理

事業見直しの概要

() は前年度予算額

- 協働のまちづくり支援制度の見直し 250,000千円
(257,000千円)
- ・これまでの事業効果の検証を行い、モデル的事業及び事務局強化支援事業を見直し
- 飛騨高山文化芸術祭の見直し 0千円
(2,000千円)
- ・これまでの事業効果の検証による見直し
- 町内会防犯灯改修等補助金の見直し 700千円
(3,800千円)
- ・改修、撤去への補助終了及び新設に対する補助率の見直し
- 社会教育団体に対する補助金などの見直し（4団体） 6,401千円
(7,682千円)
- ・これまでの事業効果の検証を行い、事業内容や組織体制の見直し、団体の解散や退会などによる見直し

福祉部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	9,362,397	9,213,843	△ 148,554	△ 1.59
介護保険事業特別会計	9,633,711	9,763,858	130,147	1.35

主な増減理由

・老人福祉施設整備費助成事業費の増	55,151千円
・福祉医療給付事業費の増	45,655千円
・障がい児通所支援事業費の増	37,096千円
・児童手当給付事業費の減	△40,000千円
・高齢者等住宅改造助成事業費の減	△54,000千円
・児童福祉施設整備費助成事業費（たんぽぽ保育園）の減	△224,293千円
・保険給付費の増（介護特会）	120,675千円

要求に関する基本方針

- 住み慣れたまちに快適に安心して住み続けるための支援の充実
- 子どもが健やかに育つ環境整備の推進
- 介護予防の推進及び安定した介護サービスを提供する体制の整備

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

- <多様な働き方に適応した労働環境の構築>
- <地域産業の担い手確保と生産性の向上>
- <心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現>
- <安心して子育てができる環境の充実>

- 総合的な相談支援 33,798千円
(34,520千円)
 - 福祉サービス総合相談支援センターの運営に必要な経費を計上
 - ・一般相談、生活困窮者相談、障がい者（児）相談
- 生活困窮者への支援 580,001千円
(560,001千円)
 - 適切な生活保護制度運営に必要な経費を計上
 - ・生活保護受給者への支援

- 地域で安心して暮らせる体制づくり 938,758千円
(893,572千円)
地域の支え合いの体制づくりや被災者支援などに必要な経費を計上
・ 地域福祉を支える体制づくりへの支援
・ 災害等の被災者に対する支援
・ 福祉医療費の助成（子ども医療費の対象者を高校生世代まで拡大）
- 障がい者が安心して快適に暮らせる環境づくり 2,227,285千円
(2,200,195千円)
障がい福祉サービス等の提供に必要な経費を計上
・ 障がい福祉サービス給付
障がい者の自立した地域生活と社会参加の促進に必要な経費を計上
・ 障がい者の就労やコミュニケーション、通院に対する支援
- 子どもへの途切れのない支援体制の強化 570,542千円
(521,005千円)
保健、福祉、教育が連携した、子どもへの支援体制に必要な経費を計上
・ 障がい児通所等への支援
・ 児童虐待対策や母子保護に関する事業の実施
- 安心して子育てができる環境の整備 1,917,440千円
(1,987,398千円)
子どもが健やかに育つ環境づくりに必要な経費を計上
・ 放課後児童クラブ、つどいの広場、ファミリーサポート事業などの運営
・ 子どもの遊び場や居場所づくりに対する支援
・ 福祉医療費の助成（子ども医療費の対象者を高校生世代まで拡大）【再掲】
- 良好な保育環境の確保 2,457,237千円
(2,721,325千円)
良好な保育環境の確保に必要な経費を計上
・ 私立保育園園舎の改修や備品更新に対する助成
・ 荘川保育園の園舎整備工事
- 高齢者の安全で安心した生活の支援 475,144千円
(427,932千円)
高齢者の安全で安心な生活や生きがいがづくりの支援に必要な経費を計上
・ 成年後見制度の利用促進、終活支援
・ 老人福祉施設の運営、維持管理
・ 介護人材確保、介護事業所の事業継続に対する助成
- 健全な介護保険事業の運営 9,167,314千円
(9,042,972千円)
介護認定、保険料の賦課徴収、介護給付に必要な経費を計上
・ 介護サービス等の給付、介護認定審査会の開催 ほか
- 介護予防の推進及び包括的な支援の実施 593,534千円
(587,729千円)
高齢者の介護予防、包括的支援体制の整備に必要な経費を計上
・ 要支援者等に対する介護予防・生活支援に関する事業の実施
・ 高齢者健康教室の開催、自主活動の支援、認知症予防施策の推進
・ 在宅医療と介護・福祉の連携の推進
・ 成年後見制度の利用に対する支援

事業見直しの概要

() は前年度予算額

- 高齢者住宅バリアフリー改修補助金の終了 0千円
(70,000千円)
・ 令和4年度末までの制度としていることから、予定どおり制度終了

市民保健部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,802,749	1,924,788	122,039	6.77
国民健康保険事業 特別会計(事業)	8,744,453	8,439,454	△ 304,999	△ 3.49
国民健康保険事業 特別会計(直診)	259,047	221,381	△ 37,666	△ 14.54
後期高齢者医療 事業特別会計	1,428,257	1,494,779	66,522	4.66

主な増減理由

- ・ 久々野火葬場の施設修繕の増 72,030千円
- ・ 直営診療所の電子カルテシステム更新費の減 △ 45,984千円
(国保特会・直診)

要求に関する基本方針

- 新火葬場建設の推進
- 健康寿命の延伸
- 地域医療体制の充実
- 国民健康保険制度の円滑な運営

要求のポイント

() は前年度予算額

〈利便性の高い都市機能とネットワークの構築〉
 〈心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現〉

- 火葬場の運営 125,825千円
(57,580千円)
 - 市営火葬場の維持管理に必要な経費を計上
 - ・ 火葬場の運営と維持管理
 - ・ 久々野火葬場屋根防水等改修工事
- 新火葬場建設の推進 190千円
(190千円)
 - 新火葬場の建設準備に必要な経費を計上

○ 市民の健康意識の醸成と健康増進 537,841千円
(534,239千円)

市民の健康増進のために必要な経費を計上

- ・健康づくりの推進
- ・母子保健事業の推進
- ・健康診査、がん検診の実施
- ・予防接種の実施

○ 後期高齢者医療における保健事業の推進 52,123千円
(52,780千円)

後期高齢者の健康増進のために必要な経費を計上

- ・すこやか健診及びさわやか口腔健診の実施

○ 地域医療体制の確保 520,231千円
(537,808千円)

地域医療体制の充実に必要な経費を計上

- ・国保診療所、休日診療所の運営と感染対策の継続
- ・南高山地域における2か所(久々野・高根)の診療所の整備
- ・中核病院の医師確保、設備整備等に対する助成
- ・在宅当番医制、病院群輪番制、救命救急センターの運営に対する助成

○ 国民健康保険制度の運営 8,439,454千円
(8,744,453千円)

国民健康保険事業の円滑な実施及び運営に必要な経費を計上

- ・特定健康診査など保健事業の推進
- ・子ども(未就学児)に係る国民健康保険料(均等割)の軽減

○ マイナンバー(個人番号)カードの普及促進 10,264千円
(10,640千円)

マイナンバー(個人番号)カードの交付及び普及促進に必要な経費を計上

- ・各種証明書のコンビニ交付の利用啓発
- ・マイナンバーカードの取得啓発

事業見直しの概要

() は前年度予算額

○ 放射性物質スクリーニング検査の終了 0千円
(520千円)

これまでの事業効果の検証を行い、空間放射線量率測定のみ継続することとし、令和5年3月末をもって終了

環境政策部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,160,372	4,656,525	3,496,153	301.30

主な増減理由

・ ごみ処理施設建設事業費の増	3,273,843千円
・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森の修繕等工事の増	60,541千円
・ 自家消費型太陽光発電設備等導入補助金の増	21,000千円
・ ごみステーション看板更新の増	3,988千円
・ 環境配慮事業者認証制度に関する経費の増	364千円
・ 乗鞍自動車利用適正化協議会負担金の減	△15,300千円

要求に関する基本方針

- 自然エネルギーによるまちづくりの推進
- 地球温暖化対策の推進による温室効果ガス排出の削減
- 自然と共生するまちを目指した生物多様性保全の推進
- 自然公園の適正管理による安全で快適な利用の推進
- ごみ減量化の推進
- ごみ処理施設の適正な維持管理
- 新ごみ処理施設の早期建設

要求のポイント

() は前年度予算額

〈地域の保全、活用、創出〉
 〈利便性の高い都市機能とネットワークの構築〉

- 自然エネルギーを活用したまちづくりの推進 37,911千円
(13,510千円)
 - 自然エネルギー活用の普及促進に必要な経費を計上
 - ・ 自然エネルギー活用の普及啓発
 - ・ 積まマイカーの運行によるエネルギーの地産地消の促進
 - ・ ペレット・薪・チップなど木質バイオマスストーブ、ボイラー導入に対する助成
 - ・ 自家消費型太陽光発電設備等の導入に対する助成
 - ・ 地域主導による自然エネルギーの活用に対する助成

- 地球温暖化対策の推進 7, 620千円
(6, 130千円)
- 地球温暖化対策の推進に必要な経費を計上
- ・電気自動車用急速充電設備の維持管理
- 生物多様性保全の推進 8, 982千円
(8, 210千円)
- 自然環境の保全や生物多様性保全の意識啓発に必要な経費を計上
- ・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習
 - ・いのちの森づくり（苗木植樹等）
 - ・特定外来植物の防除
- 自然公園の保全と活用 138, 264千円
(93, 664千円)
- 自然公園等の保全と利用の推進に必要な経費を計上
- ・乗鞍山麓五色ヶ原の森の維持管理
 - ・ジオパーク、ユネスコエコパークの推進
 - ・中部山岳国立公園活性化事業の推進
- 快適に暮らせる環境の整備 3, 225千円
(3, 155千円)
- 公害発生の防止に必要な経費を計上
- ・河川水質の監視、騒音・悪臭苦情に係る調査
- 資源循環型社会の実現 1, 051, 843千円
(900, 866千円)
- ごみの収集、焼却、埋立、減量化、資源化や施設の維持管理等に必要な経費を計上
- ・家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化
 - ・長期修繕計画に基づくごみ焼却施設の保守点検及び修繕
- 新ごみ処理施設の建設 3, 408, 680千円
(134, 837千円)
- 新ごみ処理施設建設に必要な経費を計上
- ・新ごみ処理施設の建設及び敷地造成工事

見直し事業の概要

() は前年度予算額

- 土壌中放射性物質調査業務の終了 0千円
(795千円)
- ・これまでの事業効果の検証を行い、空間放射線量率測定のみ継続することとし、令和5年3月末をもって終了

農 政 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,107,381	1,149,947	42,566	3.84
地方卸売市場 事業特別会計	89,300	319,502	230,202	257.78

主な増減理由

・ 農業土木施設整備事業費の増	31,109千円
・ 農業施設等整備事業費の増	24,183千円
・ 新規就農者等育成支援事業費の増	11,765千円
・ 繁殖牛舎整備費助成事業費の増	11,078千円
・ 牧場運営事業費の増	2,035千円
・ 優良飛騨牛固定推進事業費の減	△1,200千円
・ 家畜改良推進事業費の減	△3,950千円
・ 過年農業施設災害復旧事業費の減	△70,000千円
・ 市場建設に関する経費の増（市場特会）	230,202千円

要求に関する基本方針

- 活気ある第一次産業産地づくりと担い手の育成・確保
- ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり
- 農業用施設の保全と長寿命化の推進
- ブランド力のある安全・安心な畜産産地づくり

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<地域産業の担い手確保と生産性の向上>
<既存産業の強化と新たな産業の創出>

- 担い手の育成・確保、新たな技術の導入の促進 80,765千円
(69,000千円)
 - 担い手の育成・確保の推進に必要な経費を計上
 - ・ 新規就農者等担い手への支援
 - ・ スマート農業技術の導入に対する助成
- ブランド力のある産地産品づくりの推進 83,483千円
(59,300千円)
 - ブランド力のある産地産品づくりを推進するために必要な経費を計上
 - ・ 農業用機械、園芸施設等の導入に対する助成

- 農業用施設の長寿命化及び防災対策の推進 158,815千円
(105,001千円)
- 県の事業計画に基づく事業費負担に必要な経費を計上
- ・ 県単土地改良事業による農業用施設の長寿命化の推進
 - ・ 県営中山間地域総合整備事業（2地区）の推進
 - ・ 県営ため池等整備事業（小屋名第2ため池）の推進
 - ・ 県営かんがい排水事業（中根地区）の推進
 - ・ 県営かんがい排水事業（長倉地区）の着手
 - ・ 県営農道施設強化対策事業（小屋名橋）の着手
 - ・ 農村地域防災減災事業（久々野防災ダム2期）の着手
- 家畜防疫事業の推進 24,365千円
(27,760千円)
- 家畜伝染病対策に必要な経費を計上
- ・ 家畜伝染病対策の継続
 - ・ 家畜診療業務の充実
- 家畜自給飼料生産拡大の推進 52,578千円
(41,500千円)
- 家畜家畜自給飼料生産拡大に必要な経費を計上
- ・ 家畜自給飼料生産機械等の整備に対する助成
- 地方卸売市場整備の推進 319,602千円
(89,400千円)
- 地方卸売市場整備に必要な経費を計上
- ・ 市場建設に向けた設計等委託業務及び工事費

事業見直しの概要

() は前年度予算額

- 飛騨エアパーク負担金の見直し 3,172千円
(3,966千円)
- ・ 構成団体間の協議を踏まえ、負担金の額を精査
- 豚熱（CSF）防疫対策委託（林道及び農場周辺の消毒）の見直し 0千円
(800千円)
- ・ 豚熱（CSF）の動向を踏まえ、市の実施すべき事業範囲を見直し
- 優良飛騨牛増頭推進事業補助金の見直し 0千円
(1,200千円)
- ・ これまでの事業効果の検証結果を踏まえ、当該補助金を終了

林 政 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	673,105	636,753	△ 36,352	△ 5.40

主な増減理由

・スマート林業の推進に関する経費の増	5,000千円
・市産材の利用促進に関する経費の減	△6,250千円
・森林情報管理システムの整備に関する経費の減	△19,000千円
・過年林業施設災害復旧事業の減	△17,000千円

要求に関する基本方針

- 100年先を見据えた森林づくりの推進
- 市産材利用に向けた木材産業づくり
- 森林・林業を支える人づくり

要求のポイント

() は前年度予算額

<既存産業の強化と新たな産業の創生>
<地域産業の担い手確保と生産性の向上>

- 森林境界明確化と森林整備の推進 364,170千円
(361,862千円)
 - 災害に強い森林づくりの推進に必要な経費を計上
 - ・森林境界の明確化の推進
 - ・重点区域や森林経営管理制度に基づく私有林の森林整備の推進

- 市産材の利用促進 38,450千円
(44,700千円)
 - 市産材の利用促進を図るために必要な経費を計上
 - ・市産材を利用した木造建築物に対する助成

- 林業の担い手の育成・確保 25,160千円
(22,500千円)
 - 林業担い手の育成・確保の取り組みに必要な経費を計上
 - ・県立森林文化アカデミー修学や移住による林業就業に対する助成
 - ・スマート林業の推進

 - 森林・林業に係る普及啓発の取組に必要な経費を計上
 - ・東京都千代田区との協定に基づく交流事業の実施 ほか
 - ・市民等の提案による森林づくり、森林作業道の維持管理に対する助成

事業見直しの概要

() は前年度予算額

○ 高山市美しい森林づくり実行委員会の見直し 0千円
(300千円)

- ・ これまでの取組の成果を踏まえ、今後の実行委員会のあり方を検討するとともに、担うべき事業内容を大きく見直し

商 工 労 働 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,806,969	1,770,973	△ 35,996	△ 1.99

主な増減理由

・道の駅の管理運営体制の変更等による増	25,641千円
・地域経済構造分析及び実態調査の増	20,000千円
・若者の創業支援の拡充による増	17,523千円
・デジタル技術の活用促進支援事業の増	12,000千円
・ものづくり産業の高付加価値化促進支援事業の増	11,000千円
・若者定住促進事業の拡充による増	10,000千円
・飛騨高山展補助金の増	8,000千円
・地域課題解決型事業活動プランコンテストの増	5,851千円
・新型コロナウイルス感染症経済対策融資関連補助の減	△ 54,000千円
・中小企業融資に係る預託金の減	△ 109,000千円

要求に関する基本方針

- ものづくり産業の高付加価値化や地場産品の効果的な販売促進活動の促進
- 市内事業者のデジタル技術の活用促進や事業承継支援事業の強化
- 中小企業の経営の安定化のための融資事業の推進
- 中心市街地の活性化に向けた施策の推進
- 企業誘致対策の推進
- 市内産業を担う人材の確保・育成
- 新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等に対応した経済対策の推進

要求のポイント

() は前年度予算額

- <多様な働き方に適応した労働環境の構築>
- <地域産業の担い手確保と生産性の向上>
- <品質・価値の向上と情報発信>
- <既存産業の強化と新たな産業の創出>
- <地域循環型経済の構築>

- 中小企業等融資事業の推進 878, 196千円
(974, 762千円)
- 中小企業者、勤労者向けの低利融資の実施に必要な経費を計上
- ・小口融資、経営安定特別資金融資
 - ・勤労者生活安定資金融資
 - ・創業支援、事業承継関連融資制度に対する保証料及び利子の補給
- 起業家の受入環境等の整備 72, 977千円
(44, 490千円)
- 起業家の育成・支援に必要な経費を計上
- ・起業家に対する助成
 - ・若者の創業チャレンジに対する助成
 - ・タウンマネージャーの設置、インキュベーション施設の運営
- 地域経済構造分析の結果に基づく施策の推進 23, 690千円
(4, 270千円)
- 官民連携による市内資金循環等の取組の推進に必要な経費を計上
- ・地域経済懇談会の開催
 - ・地域経済構造分析及び実態調査の実施
- 地場産品の販売促進活動の推進 14, 484千円
(4, 550千円)
- 地場産品等の積極的な宣伝・販路拡大に必要な経費を計上
- ・飛騨高山展開催事業に対する助成
 - ・推奨土産品振興奨励制度の運用
- 伝統的工芸品産業等の振興 55, 339千円
(38, 765千円)
- 伝統的工芸品産業等の振興、後継者育成等に必要な経費を計上
- ・ものづくり産業の高付加価値化に向けた支援
 - ・後継者育成事業、伝統的工芸品産業団体に対する助成
 - ・飛騨高山の名匠認定
- 中心市街地の活性化 48, 490千円
(41, 132千円)
- にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地の活性化に必要な経費を計上
- ・飛騨高山にぎわい交流館「大政」の運営
 - ・まちづくり会社が行う中心市街地活性化事業に対する助成
 - ・商店街の空き店舗活用や景観形成に対する助成
- 企業誘致対策の推進 63, 587千円
(68, 270千円)
- 企業誘致の推進に必要な経費を計上
- ・サテライトオフィス等を活用した企業誘致活動
 - ・サテライトオフィスの開設に対する支援
 - ・飛騨高山お試しサテライトオフィスの運営
- 産業を担う人材の確保・育成 138, 558千円
(133, 990千円)
- UIJターン就職する若者への支援、労働力確保に必要な経費を計上
- ・UIJターン就職者に対する家賃・奨学金返済支援
 - ・IT人材育成プログラムの実施
 - ・インターンシップの受け入れに対する助成
 - ・働き方改革に関するセミナーの開催
- 新型コロナウイルス感染症に対する経済対策の推進 316, 010千円
(370, 008千円)
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の支援に必要な経費を計上
- ・新型コロナウイルス対策融資に関する融資制度の保証料及び利子の補給
 - ・原油価格・物価高騰等対策に関する融資制度の利子補給

事業見直しの概要

- () は前年度予算額
- おもてなし環境整備事業費補助金の廃止
0千円
(1,000千円)
 - ・制度開始後6年が経過し、一定の役割を果たしたこと及び類似制度との整理を踏まえ、補助制度を廃止

 - 高度人材育成支援事業の見直し
0千円
(600千円)
 - ・新たに行う地域経済構造分析結果を踏まえて、令和6年度以降に必要な取り組みを検討

 - 地場産業振興センター補助金の見直し
23,150千円
(26,530千円)
 - ・岐阜県や飛騨地域内自治体の負担割合見直し等に伴う補助金額の見直し

飛騨高山プロモーション戦略部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,582,240	2,390,945	808,705	51.11
観光施設事業 特別会計	126,451	141,657	15,206	12.03

主な増減理由

・ふるさと寄附推進事業費の増	528,730千円
・観光施設等整備費の増	182,630千円
・誘客対策に関する経費の増	67,808千円
・国際交流事業費の増	21,180千円
・海外戦略推進事業費の増	17,068千円
・移住交流促進事業費の増	15,407千円

要求に関する基本方針

- 飛騨高山ブランド戦略を基軸としたプロモーションの展開
- ウィズコロナ・アフターコロナ社会に対応した積極的な観光需要の取込
- 地場産品等のブランド強化及び国内外の販路開拓支援
- 移住戦略に基づいた様々なアプローチによる関係人口の創出及び移住定住の促進

要求のポイント

() は前年度予算額

- <品質・価値の向上と情報発信>
- <地域産業の担い手確保と生産性の向上>
- <既存産業の強化と新たな産業の創出>
- <着実な計画の推進>
- <文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出>

- 誘客宣伝の実施 286,030千円
(218,222千円)

- 観光宣伝、高山祭、各種イベントなど誘客に必要な経費を計上
 - ・広域連携を含めた誘客宣伝事業の推進
 - ・観光関連団体の誘客宣伝事業等に対する助成
 - ・コロナ禍に即した誘客事業の展開

- 観光施設の運営 622,207千円
(451,361千円)

- 温泉施設、キャンプ場、スキー場等の運営及び施設整備等に必要な経費を計上
 - ・観光施設の運営、整備

- 飛騨高山ブランドの意識醸成と情報発信 21,440千円
(18,250千円)
- 飛騨高山ブランドの確立を図るために必要な経費を計上
- ・ 飛騨高山ブランドの磨き上げ事業の実施
 - ・ 飛騨高山ブランド等地場産品の販路開拓に対する助成
- 飛騨高山への移住の促進 29,090千円
(13,683千円)
- 移住促進及び関係人口創出を図るために必要な経費を計上
- ・ 移住者への助成
 - ・ 関係人口創出のための助成
- ふるさと寄附の推進 1,487,130千円
(958,400千円)
- ふるさと寄附の推進に必要な経費を計上
- ・ お礼の品の充実
 - ・ ふるさと寄附推進のための業務委託
- 海外誘客促進と受入環境の充実 55,067千円
(37,999千円)
- 海外誘客の促進及び受入環境の整備を図るために必要な経費を計上
- ・ 海外誘客事業の推進
 - ・ 滞在しやすい環境の整備
 - ・ 市内事業者の海外輸出展開への助成
- 海外との交流促進と多文化共生の推進 29,256千円
(8,076千円)
- 海外都市との交流・協力や多文化共生を推進するために必要な経費を計上
- ・ 国際交流事業の推進
 - ・ 市民の多文化共生意識の醸成
 - ・ 外国人受入体制の整備

事業見直しの概要

- おもてなし国際化促進事業補助金の廃止 0千円
(500千円)
- ・ これまでの事業効果の検証を踏まえ、令和4年度末をもって当該補助金を廃止

建設部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	3,047,447	2,875,814	△ 171,633	△ 5.63

主な増減理由

- ・ 普通河川整備事業費（河川浚渫等）の増 83,000千円
- ・ 道路新設改良事業費の増 67,900千円
- ・ 過年土木施設災害復旧事業の減 △241,000千円

要求に関する基本方針

- 高速道路網、地域間連絡道路網の整備促進による道路利用者の快適性向上
- 内環状線を構成する道路整備による中心市街地の渋滞緩和や利便性の向上
- 老朽化した橋りょう修繕による長寿命化の推進
- 市民生活を守るための災害に強い社会基盤整備の推進
- 地域要望に基づく道路などの安全性確保と道路網の健全な維持

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<利便性の高い都市機能とネットワークの構築>

- 街路事業の推進 381,800千円
(401,965千円)
 道路交通の円滑化を図るための街路整備に必要な経費を計上
 ・ 松之木千島線（千島工区、松之木～江名子工区）
- 道路新設改良事業の推進 356,500千円
(506,600千円)
 道路交通の円滑化を図るための道路新設改良に必要な経費を計上
 ・ 旅行村線、中切58号、（仮）旭ヶ丘線 ほか
- 道路の安全性確保や道路網の維持 638,500千円
(580,000千円)
 道路修繕、橋梁修繕など道路橋りょう維持に必要な経費を計上
 ・ 地域要望に基づく市道の維持・修繕

- 除雪対策の充実 674,428千円
(674,090千円)
 冬期間の歩車道除雪による安全確保に必要な経費を計上
 ・歩車道除雪委託、融雪剤購入、消融雪側溝整備、除雪車両の購入
- 橋りょう長寿命化改良事業の推進 205,000千円
(160,000千円)
 橋りょうの長寿命化に必要な経費を計上
 ・長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの長寿命化修繕、詳細設計の実施
 (白山橋、おわち橋、瀬ノ上橋 ほか)
- 普通河川整備事業の推進 143,000千円
(60,000千円)
 豪雨等による災害を防止するため、普通河川整備に必要な経費を計上
 ・普通河川浚渫事業

見直し事業の概要

() は前年度予算額

- 該当なし

都 市 政 策 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,047,423	968,887	△ 78,536	△ 7.50

主な増減理由

・城山公園公衆便所改修工事等の増	42,800千円
・都市計画基礎調査費の増	22,000千円
・自主運行バスの運営経費の増	13,000千円
・地域公共交通計画策定のための調査費の増	9,000千円
・老朽空家等除却支援事業補助金等の増	3,543千円
・都市計画図の作成経費の減	△57,000千円
・無電柱化整備事業費の減	△135,000千円

要求に関する基本方針

- 将来都市構造を踏まえた土地利用の推進
- 持続可能な公共交通体系の構築
- 美しい景観と潤いのある都市空間の創出
- 安全で良質な住環境の整備

要求のポイント

() は前年度予算額

- < 利便性の高い都市機能とネットワークの構築 >
- < 地域特性の保全、活用、創出 >
- < 安全への備えと災害時の対応強化 >

- 公共交通の利便性の向上 5,000千円
(6,000千円)
 - 公共交通の利便性向上に必要な経費を計上
 - ・バスロケーション（位置情報表示）システムの本格導入 ほか
- まちなかの良好な景観創出のための整備 227,000千円
(362,000千円)
 - 上ー之町花里線無電柱化整備事業に必要な経費を計上
 - ・上ー之町花里線無電柱化の推進
- 安全で快適に利用できる公園施設等の整備 42,800千円
(0千円)
 - 東山・北山周遊エリアにおける公園施設等の整備に必要な経費を計上
 - ・城山公園（二之丸）公衆便所改修工事
 - ・城山公園の樹木伐採

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| ○ 空家等対策事業の推進 | 6, 853千円
(3, 310千円) |
| 空家等の適切な管理や活用の促進に必要な経費を計上 | |
| ・ 老朽空家等の除却に対する支援 | |
| ・ 空家等対策計画改定に伴う調査 | |
| ○ 建築物の安全性の向上 | 18, 600千円
(18, 600千円) |
| 住宅等の耐震化促進に必要な経費を計上 | |
| ・ 木造住宅等の耐震診断、建築物の耐震補強に対する助成 | |
| ○ 伝統技術の継承（後継者育成）の促進 | 10, 000千円
(10, 000千円) |
| 伝統的大工技術等の継承（活用促進）に必要な経費を計上 | |
| ・ 伝統的な技法による建造物修景工事等に対する助成 | |

事業見直しの概要

- 該当なし

水道部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	193,861	270,550	76,689	39.56
水道事業会計	3,105,498	3,232,585	127,087	4.09
下水道事業会計	5,695,275	5,699,696	4,421	0.08

主な増減理由

- ・し尿処理施設（久々野衛生センター）修繕の増（一般会計） 28,800千円
- ・紫外線処理施設整備事業の増（水道事業会計） 94,500千円
- ・宮川終末処理場設備長寿命化詳細設計の増（下水道事業会計） 28,000千円

要求に関する基本方針

- 計画的な財政運営による上下水道事業の経営の安定化
- 安全・安心な水を安定して供給するための施設整備
- 公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るための下水道施設整備
- 防災対策の推進

要求のポイント

() は前年度予算額

<利便性の高い都市機能とネットワークの構築>

- 施設の老朽化対策と遠方監視機能の推進 258,076千円
(257,731千円)
安全・安心な水を安定して供給するための施設整備に必要な経費を計上
 - ・紫外線処理施設整備
 - ・浄水施設の更新整備、遠方監視装置整備 ほか
- 基幹管路の耐震化と老朽管布設替の推進 611,365千円
(567,410千円)
安全・安心な水を安定して供給するための施設改良に必要な経費を計上
 - ・基幹管路の耐震化整備
 - ・老朽管の布設替工事、道路改良に伴う布設替工事
- 配水施設整備（拡張）の推進 37,229千円
(37,085千円)
安全・安心な水を安定して供給するための配水施設整備に必要な経費を計上
 - ・未給水地区の解消

○管きょ施設の整備、処理区域の再編の推進

292,068千円
(325,819千円)

公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るための管きょ施設整備に必要な経費を計上

- ・マンホール蓋、マンホールポンプ等の更新
- ・管きょ布設（西之一色町 ほか）
- ・処理区域の再編

○下水処理施設の長寿命化

270,441千円
(335,888千円)

公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るための下水処理施設整備に必要な経費を計上

- ・処理場設備の長寿命化工事

見直し事業の概要

() は前年度予算額

○該当なし

会 計 室

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和4年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	3,678	14,286	10,608	288.42

主な増減理由

- ・金融機関の納付書窓口取扱い等に係る手数料の増
11,018千円
- ・オンライン申請に係る決済手数料の増
500千円

要求に関する基本方針

- 合理的な会計事務の推進

要求のポイント

() は前年度予算額

<着実な計画の推進>

- 適正な会計事務の推進
13,190千円
(1,678千円)

適正な会計事務の実施に必要な経費を計上

- ・効率的な出納事務遂行のための職員研修会の実施
- ・公金管理の効率化
- ・歳計現金の適正な管理
- ・金融機関の納付書窓口取扱手数料
- ・税証明などのオンライン申請取扱い開始に伴う決済手数料

事業見直しの概要

() は前年度予算額

- 該当なし

監査委員事務局

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	6,986	7,160	174	2.49

主な増減理由

- ・ 監査事業費の増 251千円
- ・ 公平委員会運営費の減 △90千円

要求に関する基本方針

- 市民の視点に立った公平公正な監査等の充実

要求のポイント

() は前年度予算額

<着実な計画の推進>

- 適正な行財政運営に資する監査等の実施 6,091千円
(5,840千円)
監査等の実施に必要な経費を計上

事業見直しの概要

() は前年度予算額

- 該当なし

議 会 事 務 局

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	31,328	34,958	3,630	11.59

主な増減理由

- ・友好都市ウルバンバ郡等の親善訪問による増 1,749千円
- ・物価高騰に伴う議会広報紙発行に係る経費の増 1,343千円
- ・産業廃棄物最終処分場計画調査特別委員会に関する経費の増 500千円
- ・議会DXの推進（Wi-Fi環境整備等）による増 71千円

要求に関する基本方針

- 市民にとってわかりやすく開かれた議会運営

要求のポイント

() は前年度予算額

<着実な計画の推進>

- わかりやすく開かれた議会運営 34,958千円
(31,328千円)
 - 議会運営に必要な経費を計上
 - ・議会・委員会等の中継
 - ・議会広報紙の発行
 - ・市民意見交換会（地域別・分野別）の開催
 - ・議会情報の発信

事業見直しの概要

- 該当なし

教育委員会事務局

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	3,361,766	2,927,966	△ 433,800	△ 12.90
学校給食費 特別会計	381,000	419,017	38,017	9.98

主な増減理由

・小中学校管理事業費の増	375,372千円
・中学校大規模改修事業費の増	272,915千円
・荘川義務教育学校（仮称）等整備費の増	94,710千円
・教育系ICT機器や教材購入・図書館運営経費の増	45,250千円
・学校給食の質の改善に関する経費の増（給食特会）	25,043千円
・特例分教室開設に向けた準備に関する経費の増	19,858千円
・歴史資料購入事業費の減	△ 25,910千円
・小学校大規模改修事業費の減	△ 1,245,051千円

要求に関する基本方針

- 教育の質や教育力の向上と地域全体による郷土教育の推進
- 時代の変化に対応した教育環境の整備
- 地域文化の継承や歴史的町並保存の推進

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み>
<歴史・伝統の保存、継承、活用>

- 教育の充実 207,271千円
(168,789千円)

教育の充実に必要な経費を計上

- ・教育支援センター設立に向けた体制づくり、特例分教室の開設準備
- ・特別支援教育の充実
- ・外国語教育の充実
- ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施
- ・いじめ防止アドバイザーの派遣

- 教育環境の整備 308,335千円
(301,765千円)

教育環境の整備に必要な経費を計上

- ・教材備品の整備
- ・教育系ICT機器の活用
- ・校務支援システムの活用
- ・教職員の負担軽減

- 安全・安心・快適な学校施設等の整備 1,071,370千円
(1,750,580千円)
- 学校施設等の安全・安心・快適な環境整備に必要な経費を計上
- ・ 学校施設の長寿命化改修（東山中学校屋内運動場）
 - ・ 荘川義務教育学校（仮称）の整備
 - ・ スクールバスの更新
- 幼児教育、高等教育の充実 202,730千円
(203,230千円)
- 幼児教育、高等教育の充実に必要な経費を計上
- ・ 私立幼稚園における施設型給付費等の給付
 - ・ 私立高等学校、短期大学等に対する助成
 - ・ 高校通学等に対する助成
- 学校給食センターの運営 195,623千円
(178,525千円)
- 児童生徒の心身の健全な発達を図るための給食運営に必要な経費を計上
- ・ 学校給食センターの運営
 - ・ 学校給食費の保護者負担の軽減
 - ・ 学校給食荘川センターの整備
- 安全・安心な学校給食の提供 418,987千円
(380,970千円)
- 安全・安心で魅力ある学校給食の提供に必要な経費を計上
- ・ 学校給食の質の改善
- 地域文化継承への支援 3,460千円
(3,460千円)
- 地域の文化継承に必要な経費を計上
- ・ ユネスコ無形文化遺産等の継承支援
 - ・ 伝承芸能保存団体に対する助成
- 歴史的町並み保存の推進 69,269千円
(74,610千円)
- 歴史的な町並み保存の推進に必要な経費を計上
- ・ 伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成
 - ・ 伝統的建造物群保存地区防災対策に対する助成
 - ・ 歴史的建造物群の耐震化対策
- 歴史・文化活用の推進 109,939千円
(113,130千円)
- 歴史・文化を活用した地域づくりの推進に必要な経費を計上
- ・ 文化財施設（飛騨高山まちの博物館等）の維持管理
 - ・ 日本遺産の活用

事業見直しの概要

- 該当なし

消 防 本 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	766,357	801,969	35,612	4.65

主な増減理由

- ・ 消防団退職報償金の増
31,900千円
- ・ 消防署及び消防団施設の更新等に伴う増
39,400千円
- ・ 消防車両更新の減
△72,900千円

要求に関する基本方針

- 市民の安全・安心を確保するための消防機能の充実強化
- 消防団員等の安全確保と消防団施設や資器材の整備による消防団活動の充実強化
- 消防団員の士気の高揚並びに消防団員の確保

要求のポイント

() は前年度予算額

<安全への備えと災害時の対応強化>

- 消防団活動の活性化
 - 消防団活動の充実強化に必要な経費を計上
 - ・ 消防団活動充実のための支援

301,203千円
(272,587千円)
- 消防施設の更新整備
 - 消防施設の更新整備に必要な経費を計上
 - ・ 消防団車庫の更新、解体
 - ・ 消防署施設の修繕

43,716千円
(4,300千円)
- 救急救命の推進
 - 救急救命体制の充実を図るために必要な経費を計上
 - ・ AED機器の維持管理
 - ・ 消防緊急通信指令、消防救急デジタル無線の維持管理

146,213千円
(141,495千円)

○ 消防資器材の整備 27,085千円
(22,300千円)

防災体制の充実を図るための資器材の整備に必要な経費を計上

- ・ 消防資器材の購入
- ・ 初期消火資器材の整備

○ 水利施設の整備 29,842千円
(19,390千円)

防災体制の充実を図るための水利施設の整備に必要な経費を計上

- ・ 防火水槽、消火栓の維持管理

○ 消防車両の更新 174,579千円
(247,500千円)

消防車両の更新に必要な経費を計上

- ・ 常備消防車両の更新
- ・ 消防団車両の更新

事業見直しの概要

() は前年度予算額

○ 飛騨地域消防本部協議会負担金の見直し 47千円
(98千円)

- ・ 構成団体間の協議を踏まえ、負担金の額を精査